

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17107003	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	ダイニン組換え体発現と、その構造・動態に基づくエネルギー変換機構の解明	研究代表者 (所属・職)	須藤 和夫（東京大学・大学院総合文化研究科・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は巨大な微小管モータータンパク質であるダイニンのモータードメインの構造を明らかにし、ATP加水分解に伴う力の発生機構を解明することを目指している。研究は着実に進んでおり、生化学的な解析やクライオ電顕による構造解析において期待した高いレベルの成果を挙げている。一方、並行して進めることとされている、大量発現系を利用したX線結晶解析についてはまだ結晶化に到達しておらず、また一分子解析についてもシステム構築の半ばである。これらは難しい課題ではあるが、成功したときのインパクトは大変大きいと見込まれ、これからの進展に期待したい。</p>		

【平成22年度 検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。
